

「心ある医療」の充実に向けて

先生方には日ごろより診療連携で大変お世話になっております。

2024年4月に病院長を拝命しました有馬健と申します。

私は当院の前身である春日部市立病院より数えて25年目の勤務になります。カテ室を立ち上げ、救急医療の充実などに努めてまいりました。そして、東日本大震災への対応、病院の新築移転、さらに新型コロナウイルスへの対応などを、病院全体で頑張ってきました。また、移転当初開設できなかった、ICU・CCUはHCユニットとして2022年4月に利用開始しました。それを機に循環器救急の充実のため、365日循環器当直を置いています。

当センターの理念は「地域の皆さんに心ある医療を提供します。」であります。忙しい医療現場で常に実践するのは容易ではありませんが、研修、現場教育、職場環境の改善などを通じて充実させていきたいと思っております。

令和6年度は、地域に先駆け導入し、泌尿器領域を中心に数多くの手術を行ってまいりました手術支援ロボットの最新機種への更新をはじめ、内視鏡手術支援システムの増設や放射線治療部門の強化などを行い、地域の皆様により良い医療を提供するための取組を積極的に行っています。

今後も先生方との連携を密に行い、診療にあたる所存でございます。先生方におかれましては、引き続き春日部市立医療センターに患者様をご紹介しますよう心よりお願い申し上げます。

春日部市立医療センター 病院長 有馬 健



前立腺がん治療センターを新設しました

当センターでは手術支援ロボット「ダビンチ」を利用した低侵襲手術と光力学診断を用いた膀胱がん手術に注力しています。これらの複数の治療手段を適切に活用するためには泌尿器科だけでなく多部門の連携が欠かせません。地域がん診療連携拠点病院として急増する前立腺がんに対応するため、前立腺がんの診療に特化した「前立腺がん治療センター」を立ち上げ、泌尿器科、放射線科、病理診断科などが連携し、診断から治療までの流れを円滑に行う体制を整備いたしました。PSA検診で精密検査を勧められた前立腺癌疑いの方から、すでに診断がついて手術をご希望の方、治療に迷っている方、進行し治療困難と判断された方など、全ての病状に対応いたしますので是非患者様のご紹介をお願いいたします。

前立腺がん治療センター長（副院長） 蜂矢 隆彦



強度変調放射線治療（IMRT）を開始します

当センターでは高精度放射線治療装置「リニアック」として、米国バリアン社製の汎用型医療用直線加速器「TrueBeam（トゥルービーム）」を導入しています。

高精度放射線治療の一つとされる「強度変調放射線治療（IMRT）」は、あらかじめ患者の体内のがんについてサイズや形状、位置といった情報を詳細に画像診断したうえで、その条件に合わせて照射する放射線の強度を適宜コントロールしながら放射線照射を行う治療です。これにより、がんへの治療効果を発揮しつつ、副作用リスクを必要最小限に抑え、病変の形状にフィットする線量分布を実現し、抗腫瘍効果を高めつつも有害事象を低減できます。

放射線科 参与 田中 良明



手術室を強化します！

◎「手術支援ロボットを最新機種に更新」（8月から運用開始予定）



◀これまで使用していた「ダビンチ Si システム」から「ダビンチ Xi システム」へ。

◎「内視鏡手術システム」を増設予定（3室→4室へ）

医師の増員により、診療体制を強化しました

「消化器内科」

全ての外来診療日において紹介患者様の受け入れが可能となりました。

消化管や肝臓・胆膵領域の疾患を取り扱い、特に、上部下部消化器癌については積極的に内視鏡治療を導入しており、早期発見すれば、より低侵襲な治療を行うことができます。また、難易度の高い病変については癌センター・大学病院などのハイボリューム施設と連携をとり診療にあたっています。ウイルス性肝炎やNASHなどの肝疾患にも対応可能です。

消化器内科主任部長 福本 顕史



「整形外科」

今年度から医師を増員し、紹介患者様を中心に診療を行っています。

取り扱う主な疾患として、各種骨折、外傷や変性疾患に対する関節鏡視下手術、関節リウマチに対する手術、腫瘍疾患に対する生検術や摘出術を行っています。

なかでも関節外科として股関節、膝関節の人工置換術を積極的に行っています。

整形外科主任部長 大幸 英至

